



「国際センターだより」では、土木学会の国際活動の一端を紹介しています。国際センターが毎月発行している「国際センター通信」と合わせて是非ご一読ください。

News Pick Up !!

国際センター & 日越大学ジョイントセミナーの概要紹介

2016年6月15日土木学会A・B会議室において、国際センター・日越大学共催のセミナーが開催された。これは、日本政府が支援しハノイに設立予定の日越大学の開校に向けて、両国の土木技術者の交流促進を目的とするもので、ベトナムから5名の研究者が登壇した。前半は、日越双方の関係者よりベトナムの建設市場や人材育成の課題、日本のインフラ海外展開戦略等の報告があり、後半は、今後の交流の発展可能性等についてパネルディスカッションが行われた。多数の参加者が参加し盛会となった。日越大学を通じた土木技術者の一層の交流が期待される。(東京大学・加藤浩徳)



ジョイントセミナー風景

ACECC技術委員会TC21の活動紹介

ACECC (アジア土木学協会連合協議会) 内の21番目の技術委員会であるTC21の正式タイトルはTransdisciplinary

Approach for Building Societal Resilience to Disasterである。ICHARM (水災害・リスクマネジメント国際センター) 顧問の竹内邦良氏を委員長として、2015年10月に設置された。「Transdisciplinary」という言葉の意味するところは、共通の目的に向かって技術および分野の異なる関係者が協働するということである。

本委員会の狙いは、防災・減災の意思決定が、各分野の専門家や関係者の科学的知見に基づいてなされる仕組みを作り、その実践を推進することにある。これは、2015年3月に仙台で第3回国連防災会議が開催された折に採択された「仙台防災枠組2015-2030」に盛り込まれた、減災は分野・組織横断的な協働によって達成されるという考え方を踏襲している。

TC21では、第1フェーズ (~ 2019) として各国政府や地域における防災体制や技術の現状を調査し、第2フェーズでは、調査結果を踏まえてTransdisciplinary Approach (TDA) に関する事例を参加国が持ち寄り、比較検討の中から参加国に適した実践的仕組みを見出すことを目標としている。

今年の5月に第1回の国内支援委員会が開催され、6月10日にはフィリピン土木学会 (PICE) と協議し、ワークショップを共同で11月にフィリピンで開催することを申し合わせた。

(ACECCのTC活動については、土木学会誌2016年6月号の「国際センターだより」をご覧ください。)

Event Calendar

- 2016年10月3日 …… インフラ産業グローバルビジョン講演会「世界のリーダーと語るインフラ産業のグローバル戦略」—世界のコンセッション事業における土木技術者の多様な役割— (東京大学 本郷キャンパス 武田先端知ビル 武田ホール)

国際センターが企画する2016年度のイベント (行事) については、以下のURLでアクセスし、「イベント情報&開催報告」をご覧ください。

<http://committees.jsce.or.jp/kokusai>

News Pick Up! と Event Calendarの詳細は、毎月発行の「国際センター通信」をご覧ください。「国際センター通信」は下記の学会ホームページ (日本語版・英語版) からアクセスできます。また、メール配信を希望される方は、国際センター事務局までメールにてお申し込みください。 ※国際センター事務局 e-mail : iac-news@jsce.or.jp

- 日本語版 HP : <http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/26> ■ 英語版 HP : <http://www.jsce-int.org/pub/iacnews>
- Facebook : (日本語版) <http://www.facebook.com/JSCE.jp/> ■ (英語版) : <https://www.facebook.com/JSCE.en>